



ほくりくのさくらレポート



2016年1月25日
日本銀行金沢支店

北陸地域の企業における雇用・賃金設定スタンス

1. 概要

- 北陸地域の企業における雇用・賃金設定スタンスをみると、好調な企業収益や北陸新幹線開業効果を受けて、総じて前向きなスタンスとなっている。すなわち、雇用面では、一部の業況不芳先において人員整理等を行う動きがあるものの、生産が好調な製造業や需要が増加している観光関連企業を中心に採用を増加させる動きがみられる。また、賃金面でも、正社員に対するベア実施や賞与の増額支給、非正規社員の時給を引き上げる動きが広範にみられる。
- 先行きについては、人手不足感が強い状態が続くとの想定の下、積極的な雇用スタンスを維持する先が多い。賃金設定に関しては、好調な企業収益を背景に、冬季賞与の増額により積極的に利益を還元する動きがみられる一方、今春のベアについては、今後の事業環境や収益見通しも考慮し、検討中とする先が多い。

2. 企業の雇用スタンスの現状と特徴

(1) 足もとの企業の雇用スタンス

- 北陸地域の有効求人倍率は高水準で推移（15/11月：1.53倍〈全国：1.25倍〉）しているほか、短観でも、15年入り後、全産業の雇用人員判断DIは大幅な不足超（▲20%ポイント前後で推移し、92年以来の不足超幅）となっており、企業の手不足感が強い状態が続いている。
- やや仔細にみると、中国をはじめとする新興国経済の減速に伴う影響を受けている企業では、雇用維持の困難化や一部人員整理を行う動きがみられるものの、好調な生産が続く電子部品・デバイスや後発医薬品関連、自動車関連企業のほか、北陸新幹線開業に伴い観光需要が増加している宿泊・飲食サービス関連企業を中心に、積極的な雇用スタンスとなっている。

(2) 雇用スタンスの特徴等

- 人手不足感が強い状況が続く中、このところ、従来以上に雇用形態を柔軟化・多様化し、必要人員を確保しようとする動きが広がっている。この点、非正規雇用者や中途採

用による人員確保が難航していることを背景に、これまで採用していなかった高卒を含めた新卒正社員の採用や非正規雇用者の正社員化を進める先が増加している。また、女性社員の役員や管理職への積極的な登用、シニア層の活用、成果報酬制度の導入を含む処遇改善やインターン制度を活用した学生の囲い込み等により人手不足を解消しようとする動きも引き続きみられている。さらに、外国人の採用を拡充する動きもみられ、一部企業における外国人の積極的な活用により、総人口に占める外国人のウェイトが上昇している地域も存在している。

3. 企業の賃金設定スタンス

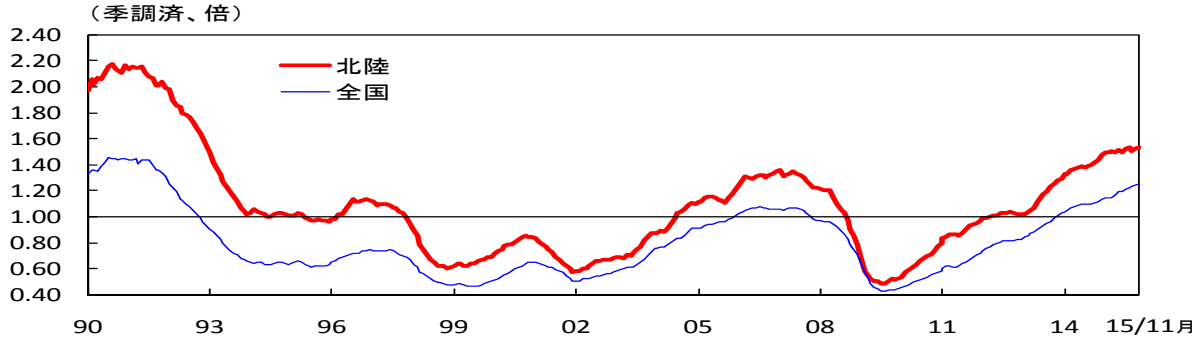
- 当地の場合、製造業を中心とする好調な企業収益や北陸新幹線開業効果もあって、人件費支出に当たっては、比較的積極的なスタンスにある先が多いのが特徴である。すなわち、中国をはじめとする新興国経済減速の影響を受けている企業では、引き続き抑制的な賃金設定スタンスにある先も存在するものの、全体としてみると、収益改善に伴う利益還元や人員確保を企図して、正社員の新卒初任給の引き上げや、ベア実施、賞与の増額支給のほか、非正規社員の時給を引き上げる動きが幅広くみられる。とりわけ、北陸新幹線や大型商業施設の開業に伴い労働需給が逼迫している宿泊・飲食サービス、卸・小売業では、良質な人員の確保を強く意識して、雇用形態に関わらず処遇改善に取り組む先が多い。一部の温泉旅館では、人手不足解消のため、歩合制の客室係を固定給の正社員とすることで労働環境の改善に取り組む動きもみられる。
- また、賃上げを見送った先でも、足もとの業績好調を受けて特別ボーナスを支給する先や扶養手当等の増額、業務上必要な資格の取得費用を負担することなどにより処遇改善に取り組む先もみられる。
- 今後の賃金設定スタンスについては、冬季賞与は、今年度上期の好調な企業収益を映じて増額した先が多い一方、今春のベアに関しては、今後の事業環境や収益見通しも考慮し、検討中とする先が多い。

以 上

本件に関するお問い合わせは、日本銀行金沢支店営業課・広報担当（電話 076-223-9522）までお願いいたします。なお、本ペーパーは日本銀行金沢支店のホームページ（<http://www3.boj.or.jp/kanazawa/>）でもご覧いただけます。

本稿の内容について、商用目的で転載・複製を行う場合は、予め日本銀行金沢支店までご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。

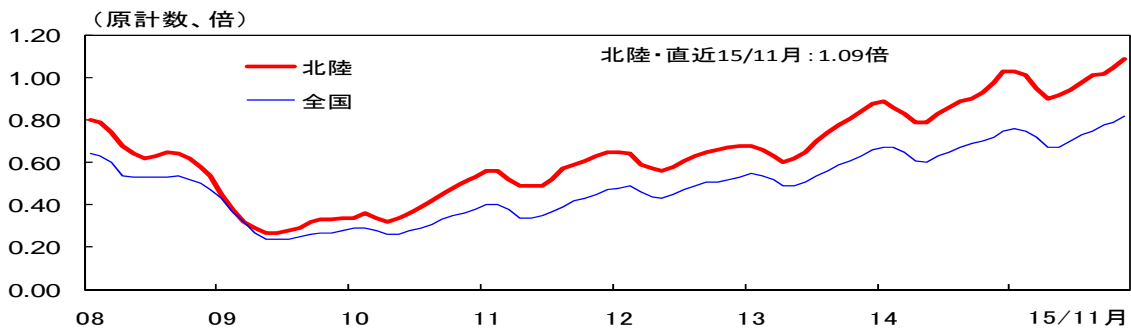
(図表1) 有効求人倍率の推移



(注) 北陸は、富山県、石川県、福井県の有効求人人数、有効求職者数を基に日本銀行金沢支店が算出。

(資料) 富山労働局「富山県の雇用失業情勢」、石川労働局「いしかわの労働市場」、福井労働局「労働市場月報」、厚生労働省「職業安定業務統計」

(図表2) 正社員有効求人倍率の推移



(注) 北陸は、富山県、石川県、福井県の正社員有効求人人数、正社員有効求職者数を基に日本銀行金沢支店が算出。

(資料) 富山労働局「富山県の雇用失業情勢」、石川労働局「いしかわの労働市場」、福井労働局「労働市場月報」、厚生労働省「職業安定業務統計」

(図表3) 就業地別有効求人倍率の状況 (15/11月)

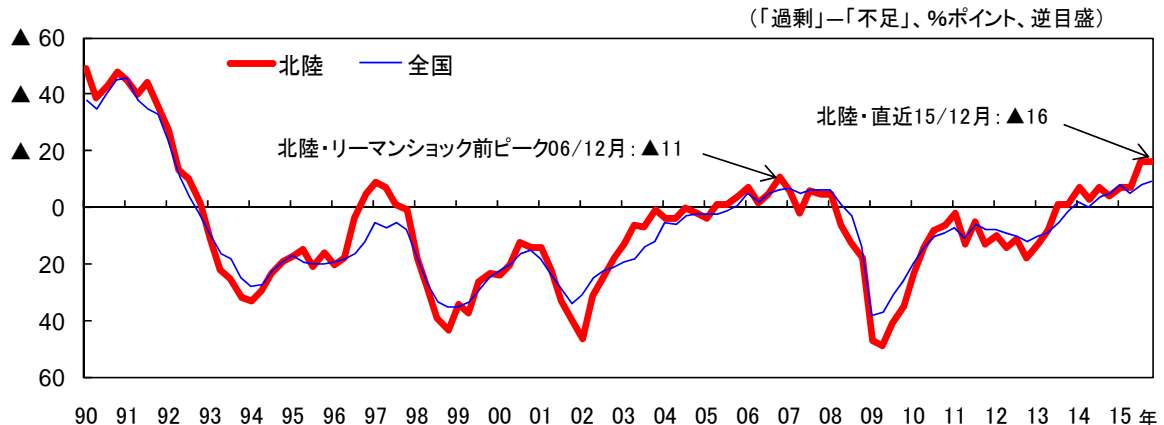
(季調済)

石川県	富山県	福井県
1.50倍 (全国8位)	1.71倍 (全国1位)	1.70倍 (全国2位)

(注) 求人票を受理したハローワークの所在地ではなく、求人票に実際に記載されている就業地で集計した有効求人倍率。

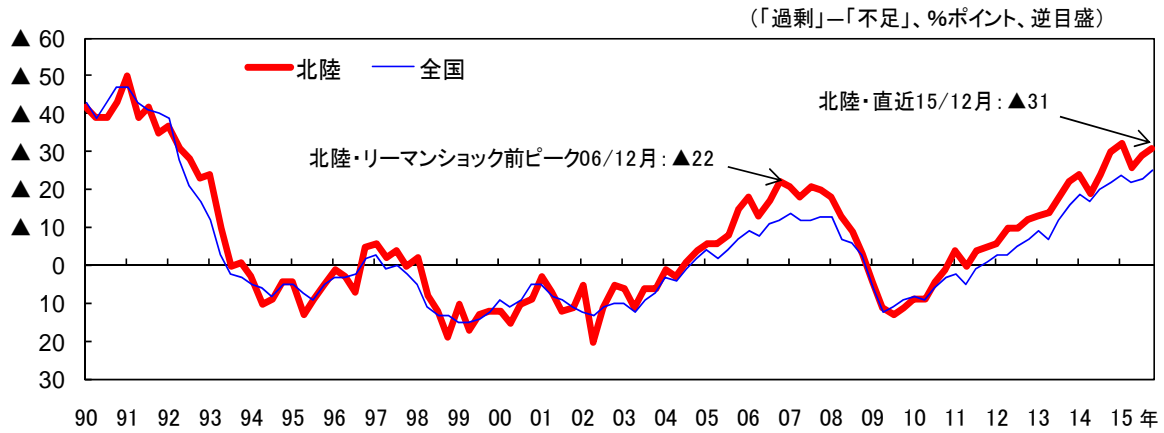
(資料) 厚生労働省「職業安定業務統計」

(図表4) 雇用人員判断DI (製造業) の推移



(資料) 日本銀行金沢支店「北陸短観」、日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

(図表5) 雇人員判断DI (非製造業) の推移



(資料) 日本銀行金沢支店「北陸短観」、日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

(図表6) 新卒採用計画

(前年度比、%)

	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 計画
北陸	6.1	6.4	10.9
全国	5.4	3.5	6.3

(資料) 日本銀行金沢支店「北陸短観」、日本銀行「全国企業短期経済観測調査」